

U20 陸上競技大会(2026 in 静岡) 競技注意事項

2026/9/18

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則および、競技会における広告および展示物規程、並びに本大会の申し合わせ事項による。また、本大会はWRK対象競技会として実施する。

2 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は、全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とする。これらのピンの直径は、4mm以上で、数は11本以内とする。【TR5. 2】

3 練習会場について

- (1) 練習は指定された会場で、【練習会場での注意事項】を熟読の上、実施すること。
- (2) 競技場内での練習は競技役員、練習会場については係の指示に従うこと。投てき練習については実施できない。

4 招集について

- (1) 招集所は、第4ゲート(100mスタート側ゲート)付近に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、競技日程を参照のこと。
- (3) 招集方法については、次の通りとする。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン及び競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標点検を受ける。トラック競技の競技者のみ腰ナンバー標識(2枚)を着用する。
 - ② ビデオ・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。【TR6. 3】
 - ③ 代理人による招集の最終確認は認めない。
 - ④ 出場種目を欠場する場合は、TICに用意してある「欠場届」に必要事項を記入して、招集完了時刻までに招集所に提出すること。

5 競技について

- (1) 正しい判定のためにビデオ監察を使用することがある。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 400mまでの種目では、不正スタートの判定の補助としてSIS(スタート・インフォメーション・システム)を使用する。目視で判定できない場合は、SISの結果で判定する。
- (4) トラック競技の、100m、200m、100mH、110mHにおいては、決勝進出条件を満たした上位8名が決勝、決勝進出者を除いた記録上位8名がB決勝に進出することができる。
- (5) ハードルを含む100m～800mまでの種目の決勝において、プラス進出者発表後に空レーン(欠場)が生じた場合、9番目以降の競技者(以後：次点競技者)を補充する。

【決勝進出者の補充について】～決勝で空いたレーンの補充 (TR20. 2. 1 注意iii)

- 1) 補充方法は、以下の通りとする。(B決勝は、補充の対象外)
 - ① 決勝へのプラス進出者発表後30分以内までの欠場は補充を行う。
(欠場者は30分以内にTICへ申し出ること。)
 - ② プラス発表30分後に繰り上げ対象者を決定し、次点競技者のチーム担当者へ連絡を行う。
(申込時の連絡担当者の電話番号へ直接架電を行う。)
 - ③ 次点競技者は、TICにて出場の意思表示を行う(代理可)。意思確認は、対象者決定後15分以内。
 - ④ 次点競技者に出場意思がなかった場合は、次の対象競技者に意思確認を行う。

- 2) 補充選手は、棄権した競技者のレーンを割り当て、新たに番組編成は行わない。
- 3) 補充選手決定後すみやかに、スタートリストの更新を行う。

- (6) 走高跳を除くフィールド競技の計測は、全て光波距離計測器を使用する。
- (7) フィールド競技における競技場内での練習は、競技役員の指示により行う。公式練習は、跳躍2回、投てき3回とする。ただし走高跳の公式練習は、回数に関係なく複数の高さで時間を区切って行う。
- (8) フィールド種目の試技数については、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投は、全ての競技者に3回の試技が与えられる。試技3回終了時点の上位8名には、さらに3回の試技が与えられる。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。
- (9) フィールド競技は、走高跳を除いて主催者が用意したマーカーを置くことができる。走高跳のマーカーは各自が用意したもの(粘着テープ)とする。なお、使用したマーカーは、競技終了後各自で回収すること。
- (10) 棒高跳に出場する競技者は、希望する支柱の位置を予め「アップライト申告書 (TICにて用意)」に記入して、招集所に提出しなければならない。また、競技開始後に、事前に届けた支柱の位置の変更を希望する場合は、試技時間に入る前に当該競技役員に申し出ること。なお、公式練習は、ゴムバーを使用して行う。
- (11) 三段跳の踏切板は、男子は13m・女子は10mで実施する。
- (12) 競技者に対する助言は、「コーチングエリア」で行うものとする。
 - 本大会では、競技場所に接近したコーチングエリアから当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画された映像を見ることがや映像機器を競技者が直接手にとって操作することができる。【TR6. 4. 5】
 - 但し、走幅跳・三段跳(メインスタンド)については、安全上の理由から映像機器の受け渡しを禁止する。(自撮り棒や紐等も使用禁止。) 【TR6. 4. 5】
- (13) フィールド競技の最中、競技者は、審判員の許可を得ることなく、競技場を離れることはできない。トイレに行きたい場合は申し出ること。【TR25. 19】
- (14) 競技用靴底(ソール)の厚さについて【TR5. 2】
 - 競技用靴とは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - トラック競技、フィールド競技ともに20mm以下とする。
 - ※WA競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
 - ※競技用靴については【TR5. 2】を厳守のこと。必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。
 - 競技用靴のWA承認状況については、下記により最新のものを確認すること。
<https://certcheck.worldathletics.org> からメーカー名、モデル名で検索するか Full List から全承認済モデルを閲覧することができる。それぞれのモデルにおいて使用が許可されている種目が記載されている。APPROVED と表示されていても記載のない種目では使用できない。
- (15) 提出書類は、下記のとおりとする。これらはすべてTICで受け取ること。なお、TICは競技場正面入口内に設置している。

	提出書類	用紙提出場所	提出時間
1	欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2	アップライト申告書	招集所	招集完了時刻まで
3	抗議申し立て(口頭)	T I C	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
4	上訴申立書	T I C	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
5	投てき用具検査申請書(預かり証)	T I C	招集開始1時間30分前から、招集開始時刻まで
6	記録証交付願	T I C	競技終了後、随時(500円)
7	プログラム訂正用紙	T I C	※日本陸連サイトよりエントリーのため、原則認めないこととする。

6 抗議と上訴について【TR8】

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果が正式発表(電光掲示板表示時刻)さ

れてから30分以内、同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内に審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は、TICを通して抗議担当総務員に申し出ること。

- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、競技者、当該競技者の監督またはチームの代表者により、預託金20,000円を添えて「上訴申立書」を抗議担当総務員を通じてジュリーに提出しなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、審判長による説明から30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）とする。また、ジュリーの裁定後に新たな変更可能な決定的証拠が提示された場合は、裁定を再考するが、それ以外の場合では、ジュリーの裁定に従わなければならない。

7 アスリートビブス（以下ビブス）について【TR5.7】

ビブスは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、腰の左右後方に着用すること。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ等を持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。
 (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
 (3) 競技者が使用する医療用テープまたは一般的なテープは無地に限る。どちらのテープにおいても商品名・ロゴが記載されたテープを使用する場合は、大会主催者へ書面で申請し承認される必要がある。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき器具において、通知した競技場備え付けの投てき用具リストにないもの及び、1個のものに限り、当日検査の上使用を認める。
 ※持ち込み希望者は、招集開始時刻1時間30前から招集開始時刻までに、TICで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預かり証」を発行の上一括借り上げとし、出場者全員で共有できるものとする。また、借り上げた用具は、その競技終了後TICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても主催者は責任を負わない。
 (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいない。
 (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、一覧表のとおりである。
 (4) ハードル種目の規格、投てきの重量は次の通りとする。

U20男子 110mハードル		U20女子 100mハードル	
高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
0.991m	9.14m	0.838m	8.50m

投てき物	U20男子	U20女子
砲丸	6.000kg	4.000kg
円盤	1.750kg	1.000kg
ハンマー	6.000kg	4.000kg
やり	800g	600g

10 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

種別・種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
U20男子走高跳	1m90 2m00 2m05	1m95	2m00	2m04	2m07	2m10	2m13	2m15	以降2cmずつ上げる
U20女子走高跳	1m55 1m60 1m70	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m76	1m78	以降2cmずつ上げる
U20男子棒高跳	競技者の 申告により 設定	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m25	5m30	以降5cmずつ上げる
U20女子棒高跳	競技者の	3m60	3m70	3m80	3m90	3m95	4m00	4m05	以降5cmずつ上げる

	申告により設定								
--	---------	--	--	--	--	--	--	--	--

- (1) 走高跳・棒高跳において、最後の一人になるまで上記の上げ方とする。
- (2) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、跳躍審判長が決定する。
- (3) 第1位が同成績の場合による順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。(TR26.9.4)

11 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- (2) 決勝レースは、衣類等荷物を第1ゲート付近まで運搬する。(200m以内の種目のみ)
決勝レース終了後、1～3位の入賞者は、第1ゲート付近で更衣をし、誘導により表彰者控え所へ移動する。
- (3) 第1ゲートスタートの競技者は、競技終了後更衣をし、第1ゲートから退場する。
- (4) 第2ゲートスタートの競技者は、第1曲走路外側を通過して戻ること。第1ゲートから退場する。
- (5) 第3ゲートスタートの競技者は、正面玄関前を通り第2曲走路外側を通過して戻ること。第4ゲートから退場する。
- (6) 第4ゲートスタートの競技者は、正面玄関前を通過して戻ること。第4ゲートから退場する。
- (7) 第3ゲートゴールの競技者は、棒高跳ピットとトラックの間を通過して戻ること。第1ゲートから退場する。
- (8) フィールド競技の競技者は、競技終了後、競技役員の指示に従って退場する。
9位以下の選手は、競技役員の指示により、第1または第4ゲートから退場する。1～3位の入賞者は、係の誘導で表彰者控え所へ移動する。

12 表彰について

- (1) 各種目の1～3位入賞者には賞状とメダル、4～8位の入賞者には賞状を授与する。
- (2) 1～3位の入賞者は、メインスタンド前中央で表彰する。雨天時は、正面スタンド下で表彰する。
- (3) 表彰式の服装は、チームジャージ(上半身はチームTシャツも可)で出席すること。(下半身はジャージ着用が望ましい)
- (4) 4～8位の賞状はTICで渡す。

13 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、メイン競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
- (2) 競技中、明らかに競技続行が困難となった競技者に対し、競技者本人が競技続行の意思を表していても、競技者の生命・身体保護の観点から審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることがある。
- (3) 荷物は各自で管理すること。紛失等の場合があっても責任は負わない。
- (4) 遺失物は、TICで保管する。
- (5) ベンチ・テントは、許可区域以外に設置しないこと。【ベンチ配置エリア】を熟読の上、設置すること。
- (6) メイン競技場内の横断幕及びのぼり旗については、【横断幕・のぼり旗の設置について】を熟読の上、設置すること。
- (7) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに「記録証交付願」を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (8) 送付された棒高跳ポールは、競技場正面入口先の階段下で保管しているので、各自で確認すること。
- (9) 会場内にゴミ箱の設置はなく、ゴミは各自で持ち帰ること。
- (10) 競技場内の撮影について、今大会は選手コーチ/一般観客含めてスマホ/タブレットでのみ撮影可能。スマホ/タブレット以外のデジタルカメラ、一眼レフカメラ、ビデオカメラ等の撮影は禁止とする。(大会主催者が認めた報道やオフィシャル撮影等のビブス着用者はこの限りではない)
- (11) 競技者受付について、競技場正面入口に設置する。受付時間は下記の通り。
大会前日：10月2日(金)12時50分～16時45分まで(正面入口から入った本部室内)
大会1日目：10月3日(土)7時30分～16時00分まで(競技場正面入口)
大会2日目：10月4日(日)7時30分～12時00分まで(競技場正面入口)